



訪問看護ステーション神奈川新聞 R6⑫月号



今年もお世話になりました



今年も残すところあと僅かになりましたが皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本年は開設1周年を無事に迎えることができました。開設当初スタッフ2名から始まり、現在は看護師、リハスタッフ、事務合わせ9名まで増員することができました。お客様も約90名まで増え、ステーションもよいケアができるようにみんなで相談し情報共有を和気あいあいとしています。これも皆様のご支援のおかげと厚く御礼申し上げます。

来年もお客様が安心して在宅生活が過ごせるよう努力してまいります。

新年にはまた元気にお会いできますこと楽しみにしております。

良いお年を
お迎え下さい

管理者 渡邊万理

言語聴覚士の
リハビリ紹介



言語聴覚士のリハビリ

は嚥下訓練、言語訓練などありますが、具体的に何をするのか分かりにく

いところもあるかと思っています。

そこで今回は、発声や発話を中心にリハビリをされているご利用者様が実際に使用しているグッズや自主

トレの様子をご紹介します。

息が長く続くようにするため、声量を増大するため

に呼吸や発声の訓練、口腔の訓練をしています。

紹介したのはごく一部で、他にも様々な運動をして



↑全長80cmの吹き戻しです。お孫さんにも

褒められたそうです！



↑ご利用者様の自主トレセット。吹き戻しとペコパンダ(舌のトレーニング)を毎日実施しています。



↑水の入ったペットボトルを、ストローで吹いて泡立てます。唇の閉鎖、呼吸などの訓練になります。



チョコッと息抜き **チョコリハ**

嚥下能力が下がると、誤嚥性肺炎や窒息など重大な問題を引き起こすことがあります。今回はのど仏の筋トレを紹介します！のど仏を鍛えて誤嚥性肺炎を予防しましょう！

① おでこの体操



おへそを覗き込むように顎を引き、手をおでこにあて5秒間、手とおでこで押あいます。

② あご持ち上げ体操



顎を引き、顎の下に親指を当てます。顎は下に、親指は上に、5秒間押しあきましょう。

社会福祉法人横浜市福祉サービス協会

訪問看護ステーション神奈川



TEL: 045-279-0640
FAX: 045-279-0637



★神奈川区だけでなく近隣地区

(港北区、保土ヶ谷区など)にも訪問します★

空き状況	月	火	水	木	金
看護 (Ns)	○	○	○	○	○
理学 (PT)	×	○	○	○	×
言語 (ST)	○	○	○ (PM×)	○	×